

2015/4/17 JANOG35.5

インタークラウドをアプリケーションとした オープンな閉域網接続の実現に向けて

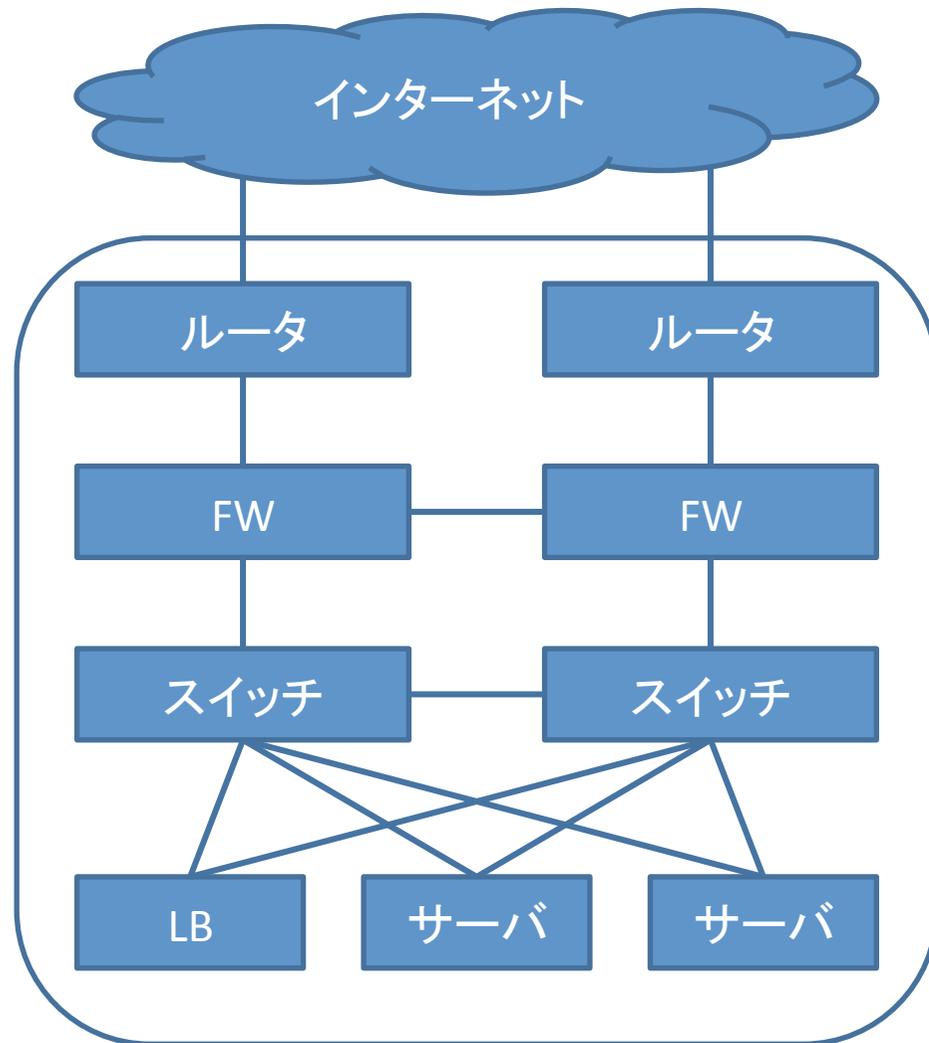
Cloud IX研究会 インタークラウドWG

大久保 修一 <ohkubo@sakura.ad.jp>



East-Westトラフィック

従来ながらのありがちなシステム構成

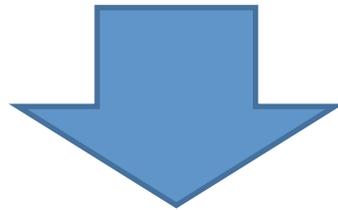


DC・オンプレミス

- ハードウェアアプライアンス
- 一箇所のデータセンター内
- システム内のトラフィックはローカルで完結
- インフラ運用に人が張り付き

数年前までは…

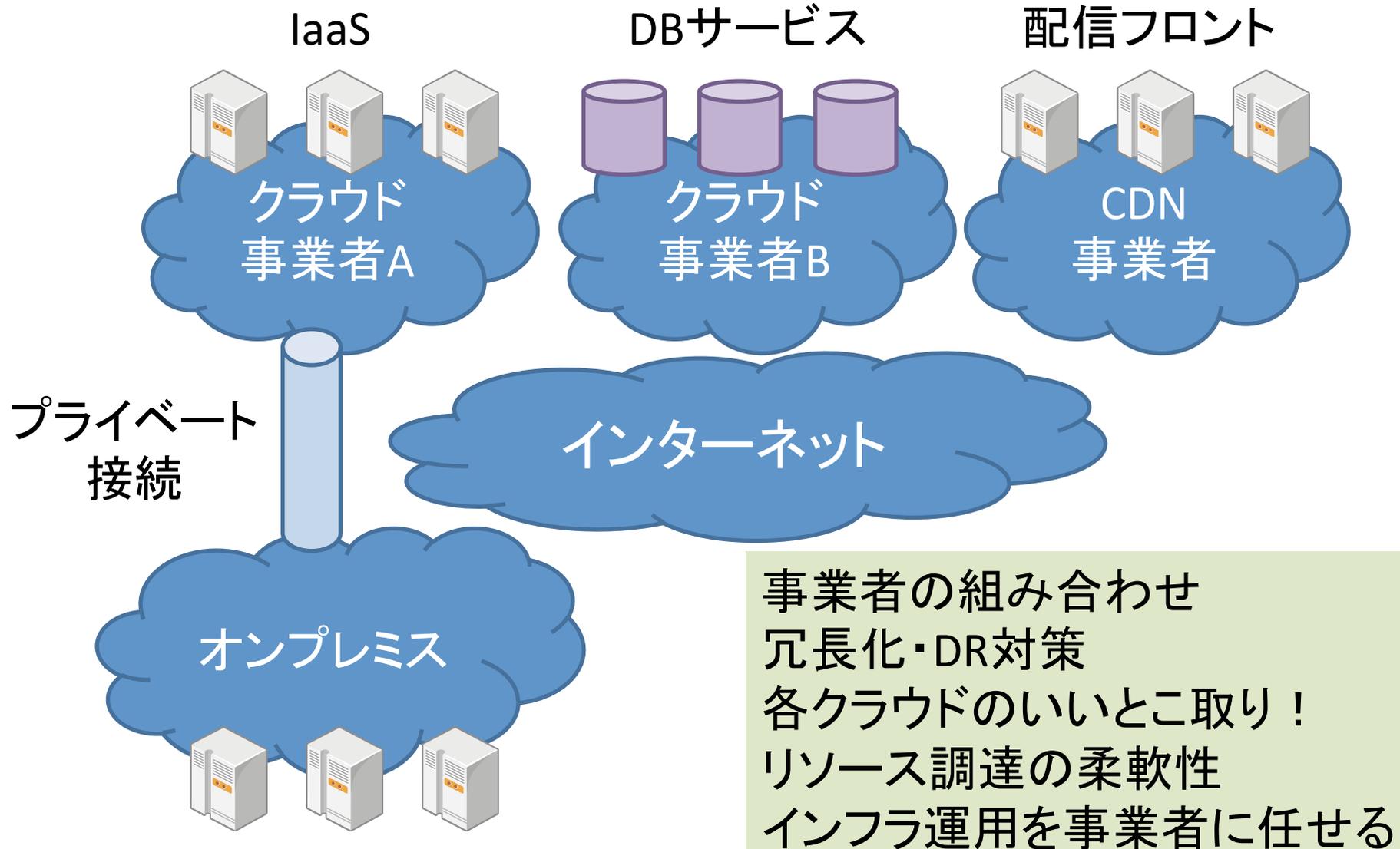
仮想化技術の広まり
クラウドファースト



現在では…

マルチクラウド

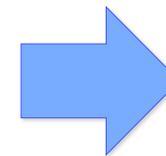
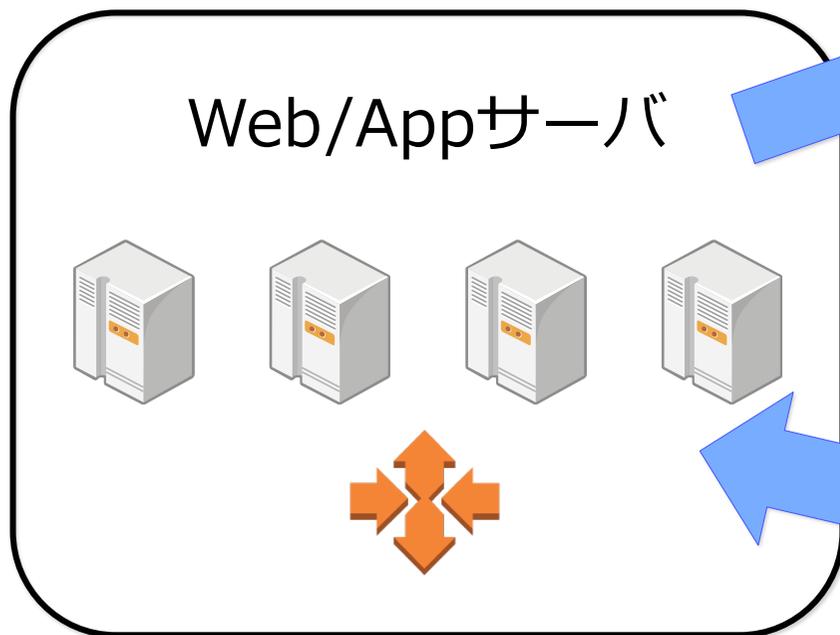
マルチクラウドの活用



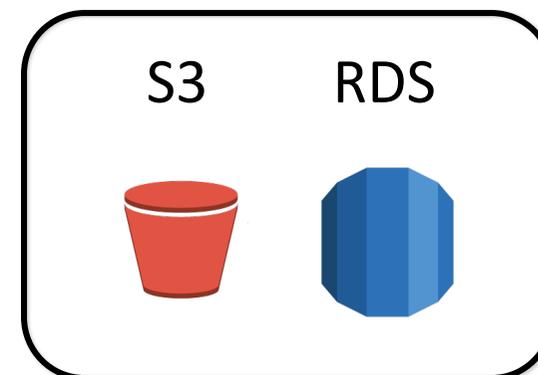
サーバ間連携の 広域分散化

弊社における事例

さくらのクラウド

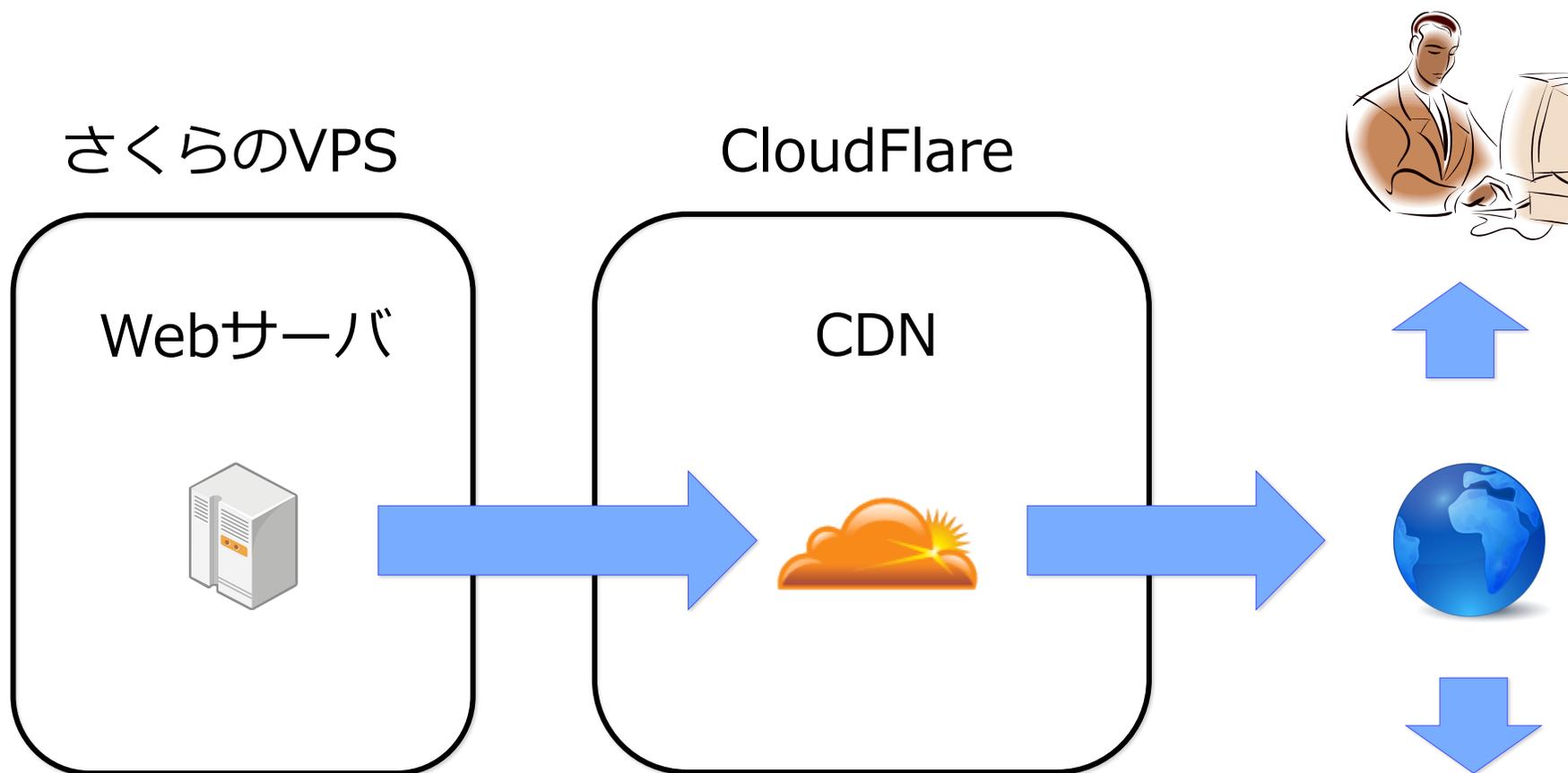


AWS



配信フロントをさくらのクラウドに、
ログ保存、DB管理をAWSに。
流量一定の場合はトラフィックコストを
圧縮可能

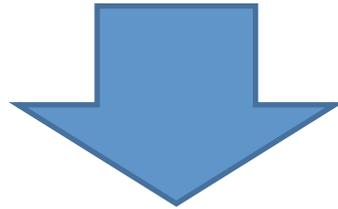
弊社における事例



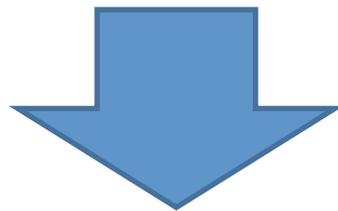
費用/CPU性能の良いさくらのVPSをOriginとして、グローバル配信性能の高いCDNを併用



従来ローカルで
閉じていたサーバ間通信



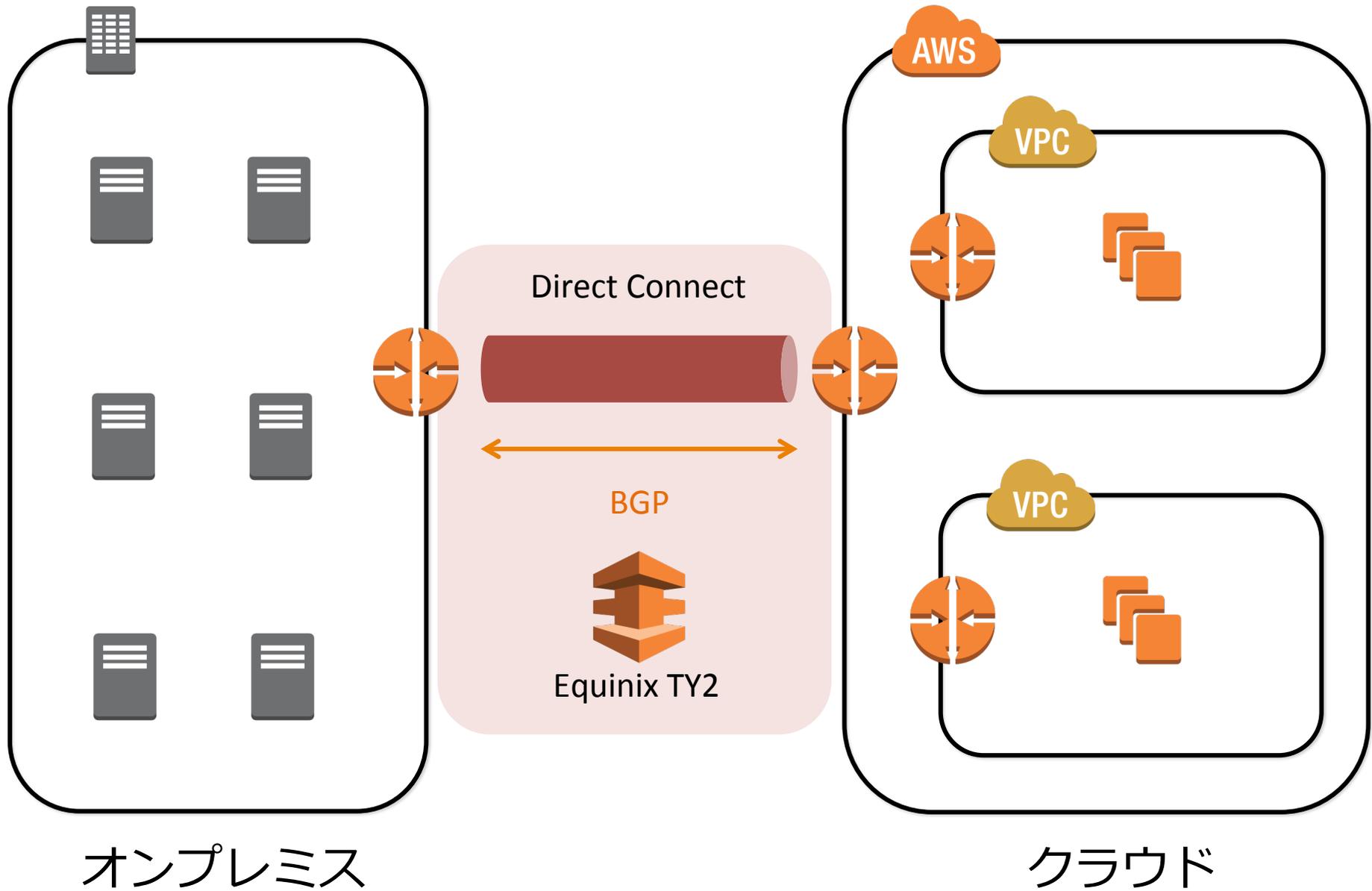
セキュアで堅牢性が
要求される性質のトラフィック



事業者をまたいで
流通するようになった

× インターネット経由ではつらい

AWS Direct Connectの例

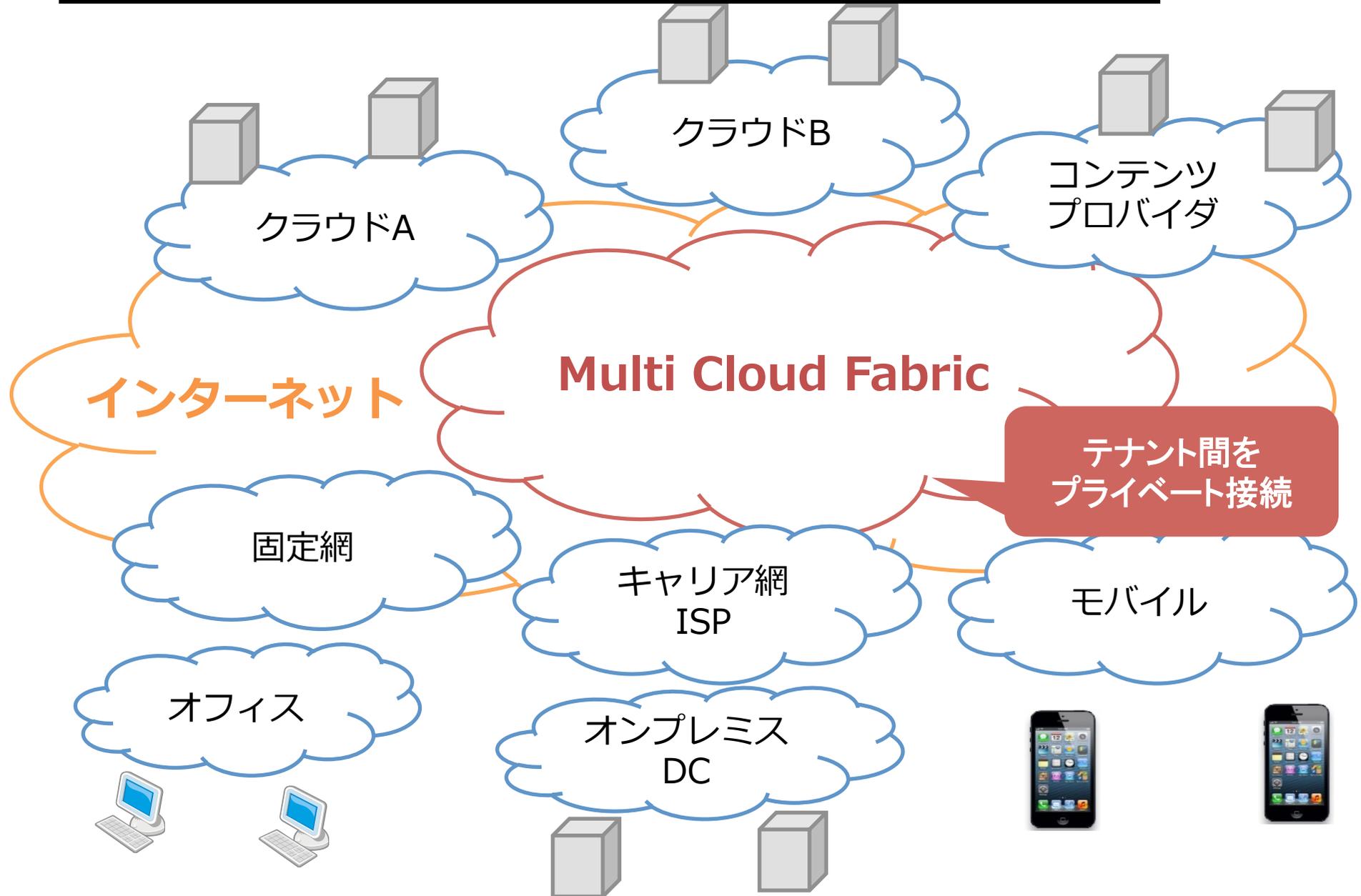


× 個々のプライベート接続は
スケールしにくい

× クラウド間にはつながらない

自由に繋がられる
閉域網接続が欲しい！

こんなプラットフォームがあったらいいなイメージ

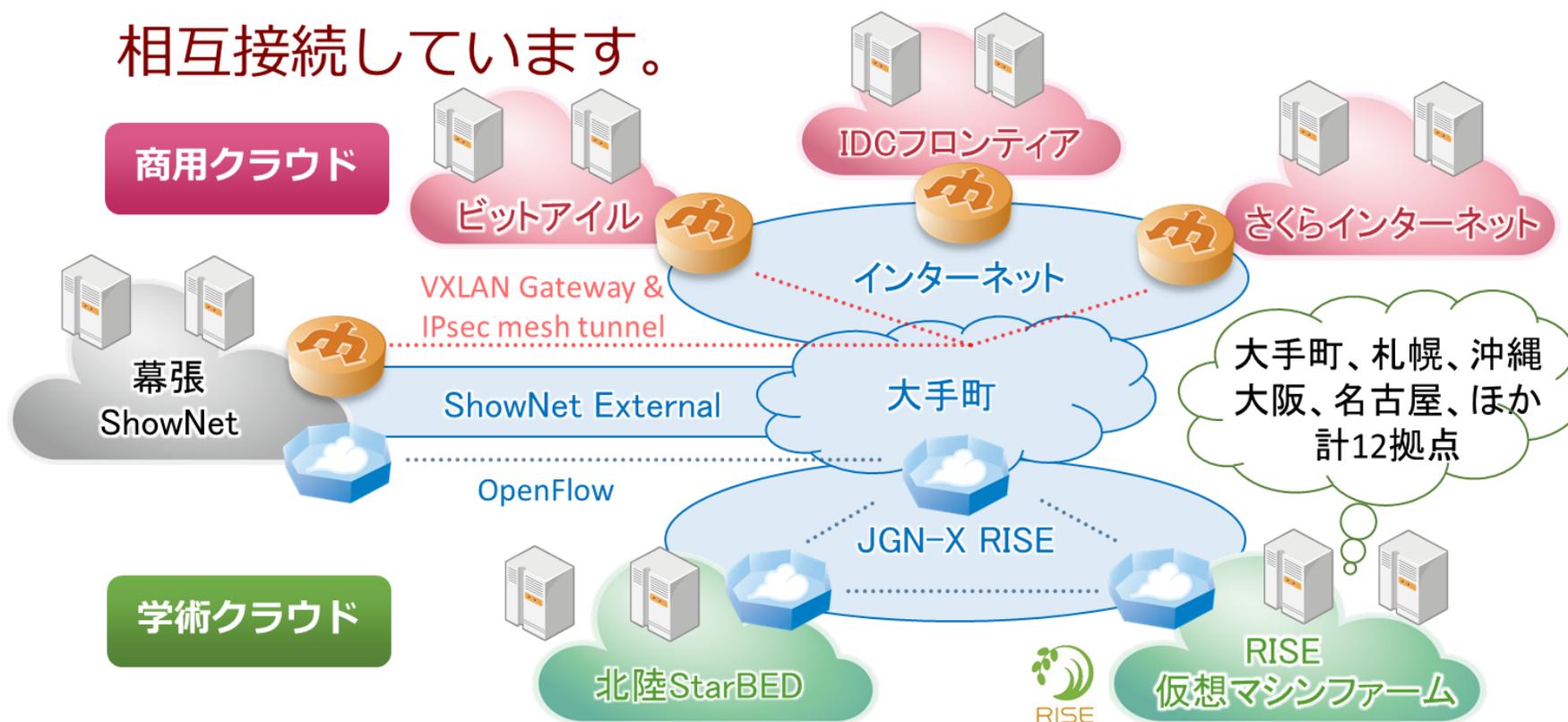


参考:2014/6 Interop Tokyoでの実験

ShowNetでの検証構成



商用クラウド3社と、StarBEDをはじめ国内12拠点到
またがるRISE仮想マシンファームをShowNetにて
相互接続しています。



クラウド間接続検証Phase2概要 (2014/11～)

- BBIX商用環境の上で検証を実施。BBIXに接続済の事業者であれば、既存の自社網インフラを活用することで大きな追加コスト負担なく参加可能。
- Phase1で行ったL2ベースでの接続ではなく、L3 IP-VPNベースの構成を検討する。
- コンテンツプロバイダにもユーザ視点で参加いただき、実運用する上で利用しやすい接続インターフェイスについて、フィードバックを受けることとする。
- 商用化を視野に入れ、高可用性の実装、運用しやすい構成(トラブル解析の容易性)の検討、プロビジョニング方式等の検証も行う。

詳細は井上さん
よろしくおねがいします！